

六・一八 浜松大空襲と
平和憲法を心に刻む集会

◎一九四五（昭和二十）年、浜松は、二七回にも及ぶ空襲と艦砲射撃を受け、敗戦直前の六月一日には、B29米爆撃機の空襲を受けて焼け野原となり、無惨にも三千三百四十名の命が奪われました。それは、浜松に軍事基地と軍需工場があったために、攻撃目標にされたのでした。

◎あれから半世紀過ぎた今日、再び、航空自衛隊浜松基地ができ、AWACSが配備され、三沢基地から警戒管制司令部までも移転され、今や浜松基地は、押しも押されぬ「航空自衛隊中枢司令基地」となったのです。

◎去る五月十日（日）には、米空軍のトップであるライアン大将（参謀総長）と在日米軍司令官が、日本の空幕僚長の案内で浜松基地を視察に来ていたことが判明しました。この事実は、新ガイドラインによって、米軍にとっても、浜松基地は重要な作戦基地となったことを示す何よりの証左です。五年後、十年後、二十年後に浜松市はまた焼け野原になる可能性はないでしょうか。本当に心配です。

◎私たちは、過ぐる大空襲を想起し、再び、戦争の惨禍を招かぬために左記の集会を開催します。」一緒に、私たちの平和について考えたいと願っています。

「集会の御案内」

一、名称 「浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会」

二、日時 一九九八年六月一日（木）午後六時半～九時頃

三、場所 遠州教会（浜松市紺屋町三〇一～一五）

四、講演 「南京事件を考える：中国での調査から：」

五、質疑・協議 講師・近代史研究会幹事 小池善之氏

★入場無料・自由に御参加下さい！

共催 静岡県西部地区 平和遺族会

浜松市憲法を守る会

六・一八 浜松大空襲と

平和憲法を心に刻む集会

◎一九四五（昭和二十）年、浜松は、二七回にも及ぶ空襲と艦砲射撃を受け、敗戦直前の六月一日には、B29米爆撃機の空襲を受けて焼け野原となり、無惨にも三千三百四十名の命が奪われました。それは、浜松に軍事基地と軍需工場があったために、攻撃目標にされたのでした。

◎あれから半世紀過ぎた今日、再び、航空自衛隊浜松基地ができ、AWACSが配備され、三沢基地から警戒管制司令部までも移転され、今や浜松基地は、押しも押されぬ「航空自衛隊中枢司令基地」となったのです。

◎ 去る五月十日（日）には、米空軍のトップであるライアン大将（参謀総長）と在日米軍司令官が、日本の空幕僚長の案内で浜松基地を視察に来ていたことが判明しました。この事実は、新ガイドラインによって、米軍にとっても、浜松基地は重要な作戦基地となったことを示す何よりの証左です。五年後、十年後、二十年後に浜松市はまた焼け野原になる可能性はないでしょうか。本当に心配です。

◎ 私たちは、過ぐる大空襲を想起し、再び、戦争の惨禍を招かぬために左記の集会を開催します。一緒に、私たちの平和について考えたいと願っています。

「集会の御案内」

一、名 称 「浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会」

二、日 時 一九九八年六月一日（木）午後六時半～九時頃

三、場 所 遠州教会（浜松市紺屋町三〇一～一五）

四、講 演 「南京事件を考える：中国での調査から：」

講師・近代史研究会幹事 小池善之氏

五、質疑・協議

★入場無料・ご自由に御参加下さい！

一九九八年六月十四日（日）第三七六回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一～十五